



# おおさき

発行日：令和5年2月発行

発行者：宮城県看護協会大崎支部

編集者：宮城県看護協会 大崎支部 広報委員会

## 大崎支部長あいさつ

梅のつぼみもふくらみ、日中はいくらか寒さも緩んできたようです。

新型コロナ感染症は第8波が到来し、行動制限のない中で、感染対策の継続や医療体制を維持することは大変なご苦労があると思います。今年は感染対策のもと、対面による支部会議を行いました。また、10月開催の「大崎市健康と福祉の集い」へまちの保健室として参加し、新型コロナ感染症に関する日常生活の注意点を発信いたしました。大崎市部研修会（10/29）では、私達が日々行っている感染対策の再確認を目的として、大崎市民病院の伊藤真理さん（感染制御実践看護師）に講師をお願いいたしました。第2部の「看護職ネットワーク会議」では各施設のコロナ禍により生じている課題が話し合われ、相互理解に役立てることが出来ました。

先の見通しがつきづらい状況が続きますが寒さもあと一息です。元気な春を迎えることを願っています。

## まちの保健室

令和4年10月15日（土）大崎市古川保健福祉プラザにて「健康と福祉のつどい」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年振りの開催となりました。

テーマは「できることからはじめよう健康づくりと感染予防」でした。血圧測定、自律神経チェック、脳年齢測定、インボディ（体組成）ベジチェック、握力測定、ピンチゲージ（つまみ力）、血管年齢測定の体験を行いました。感染予防としては基本的な手指消毒の方法、消毒の大切さなどを皆さんへ伝えることが出来ました。コロナ禍でもあり来場者は例年よりも少なかったですが、楽しみながら参加をしていただけました。



## 大崎支部研修会開催

### 第1部：研修会



令和4年度10月29日（土）大崎訪問看護ステーションの会議室にて大崎市民病院の感染防御実践看護師・伊藤真理氏をお招きして「基本的な感染対策の再確認をしよう」をテーマに研修会が開催されました。

当日は医療機関、施設、事業所の看護師、保健師22名が参加されました。

講義内容は、感染の成立について説明があり、対策である標準予防策、感染経路別予防策、手指衛生（手による伝染、手指消毒、手指衛生5つのタイミング）、環境衛生（環境整備の手順、換気）などの再確認をいたしました。そして個人防護具の着脱方法を実践形式で講義していただきました。

参加頂いた方からは『すぐに活かせる内容だった』『実際にっていた業務で曖昧としていたところが明確にできた』『今まで行ってきたPPEの着脱がマニュアルに沿っていないことが分かった』など、高評価の感想を沢山いただけました。基本が重要ということを改めて認識できた研修会でした。



### 第2部：看護職ネットワーク会議

第1部の研修会に引き続き、テーマ「コロナ感染対策による面会制限の中、各施設で工夫されていること」について情報、意見交換をグループワーク形式で行いました。

新型コロナウイルス感染対策が長期化する中で、各施設での取り組み、工夫されていることの情報を様々な側面（看護者、患者家族、社会背景）からお互いに考え、学び合える有意義な時間を共有することができました。改めて看護職として、介護職や行政、多職種との連携、結びつきを強化していく必要性を実感しました。各施設の皆様、貴重な情報、ご意見、ご参加頂きありがとうございました。



### 卒業生へお祝いの花束を贈ります！



令和4年度大崎市医師会付属高等看護学校の卒業式が、令和5年3月3日に行われる予定です。今年も新型コロナウイルス対応のため最小限の参加者で行われる予定です。卒業生33名へ宮城県看護協会大崎支部よりお祝いの花束を贈ります。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます！！

## 大崎支部役員会開催 2023.1.12（木）

令和5年1月12日（木）「令和4年度宮城県看護協会大崎支部第5回役員委員会」を大崎訪問看護ステーションで開催しました。各委員会からの事業進歩状況や次年度に向けての予定など話し合いが行われました。

### 編集後記

令和4年度は2年前と比べ徐々に活動内容が増えつつあります。次年度はより一層大崎支部の活動を情報発信していくよう頑張っていこうと思います。